

**第8回富士見市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会
(平成28年度第1回)
議事録**

日 時	平成28年5月10日(火)			開 会 午後 3時00分	閉 会 午後 5時00分
場 所	ピアザ☆ふじみ 多目的ホール	出席者数	委員定数12名中 出席者10名		
出席者	委 員	鏡会長、昼間副会長、岩村委員、根岸委員、金子委員、齋木委員、関根委員、深野委員、星委員、吉田委員 ※欠席 長南委員、森田委員			
	事 務 局	【事務局職員】 島田総合政策部長、斉藤総合政策部副部長兼政策企画課長 荒田政策企画課副課長、佐藤政策企画課主査			
配付資料	第8回富士見市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 次第 資料1 「富士見市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)」に対するパブリックコメントの結果について 資料2 地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)について 富士見市キラリと輝く創生総合戦略(冊子) 富士見市キラリと輝く創生総合戦略【概要版】				
公開・非公開	公開(傍聴2名)				

会 議 事 項

1 開会 総合政策部副部長

2 会長あいさつ 鏡会長

3 議事（進行：鏡会長）

（1）パブリックコメントの対応結果について（報告）

資料1に基づき、前回の審議会で説明した市の考え方（案）から庁内で再検討し、改めて作成した対応結果について事務局より説明。

質疑応答なし

（2）平成27年度交付金対象事業の検証について

資料2に基づき、事務局より説明。

会 長：今回の交付金対象事業は、審議会が立ち上がる前に、中期基本計画の中から行政主導で選定したものである。国からは、交付金を活用したことで、地域にどのような効果をもたらしたのかを検証し、報告することとされている。そこで本日は、先行型交付金で取り組んだ事業の効果・課題等や、事業ごとに設定したK P I（重要業績評価指標）が有効であったかどうか、市民目線でご意見やご指摘をいただきたい。

質疑応答

副会長：総合戦略の策定前に、先行型交付金についてK P Iを設定しなければならなかったため、交付金事業と総合戦略でのK P Iに違いがあり、わかりづらくなっている。これは時系列的にやむをえないもので、事務局も苦労したのではないか。指標を達成できなかった事業は、その理由をわかりやすく市民に説明できれば良いと思う。今回の評価検証でレベルを上げ、事業に取り組んでほしい。

委 員：資料2について何点か伺いたい。

○事業番号2～6「地域資源を活用した観光振興事業」の「ココシル☆ふじ

会 議 事 項

み」の活用について、IT業界ではアプリのダウンロード数の計測がKPIとしては主流なので、その観点があればと思う。

○事業番号7「多子世帯保育料軽減事業」の方向性で、継続を課題としているが、どういう仕組みでどのような財源であれば継続していけるのかを含めて、市民へ分かりやすく周知していく必要がある。

○事業番号13「地域の活性化を推進する創業支援事業」について、制度の周知を課題としているが、福岡市等での成功事例をみると、商工会のHPでの情報発信に力が入っている。最初に目にするのは商工会のHPであることが多いと思う。市と商工会でうまく連携し、他市町の成功事例も参考にしながら取り組むと良いと思う。

○事業番号14～15「移住・定住化を促進する住宅リフォーム等助成事業」で制度周知を課題としているが、今までのやり方では無理なのではないか。チラシ等のデザインを変えらしても改善していかないと思う。情報を受け取る側の目線で必要な情報の切り取り方を工夫するとよい。受け取る側がどんな便益を受け取れるかで整理し発信していくとよいのではないか。

事務局：○多子世帯への保育料軽減事業については、国や県の財源保障がないと継続は厳しいと担当課でも考えている。一方、事業の継続性は必要と考えるが実施による評価・検証を行った上で継続するかの判断が必要である。また、他市町の動向なども注視し、総合的な判断が必要であると考えている。

○地域の活性化では、今後取り組みを検証していく中で、他市町の成功事例も踏まえていく。また、総合戦略の枠組みの中で、商工会との連携により効果を上げていければと考えている。

○移住・定住、シティセールスでは、富士見市が暮らしやすい・安全性・魅力など広報担当を中心に必要な情報の切り取りなど、戦略を立てて取り組んでいきたいと考えている。

会 長：○多子世帯の部分については、なかなか難しく政治判断によるところもあるが、市民にとっては政策選択を実現する一つ選択肢である。国も保育行政に力を入れているが、市には市の優先順位があり、市民の感じていること

会 議 事 項

を様々な形で施策に実現させ、住みやすいまちづくりに繋げることが必要である。

委 員：○総合戦略の背景となっているのが人口減少の克服であるので、多子世帯への保育料補助については、国・県の助成がなくてもぜひ実施してほしい。市のまちづくりに色が出てくると思う。

○市の総合戦略を市民に周知し、理解してもらうことが重要。周知していくことで市と市民の役割分担による取り組みも出てくると思う。より多くの市民の認知度向上が課題ではないか。K P Iで認知度・満足度を多く使っているが、3年ごとの市民意識調査ではなく、それに準じるアンケートやモニター等を実施できないか。

事務局：○K P Iの設定については、内部で様々な調整したところではあるが、評価できる指標の1つとして大きなウエイトを占めるもので設定した。今後、取り組んでいく中で見直しをしていければと思う。モニター・アンケートについては研究していきたい。

委 員：○情報発信でココシルのダウンロード数の話があったが、アプリのダウンロード数は他の地域も含まれてしまうのでわかりづらい。ダウンロード数以外で、富士見市に対するアクセス数が出るのであれば、ココシル全体で富士見市がどの位置にいるのか分かればいいと思う。またプロモーションビデオも作成したところだが、P R大使の委嘱式で紹介・活用がなかったのは残念である。周知の方法を考えないと作成しても無駄になってしまう。フェイスブックの運用でもココシルとの連動性を意識して運用できるように研究してほしい。

○多子世帯の保育料補助の継続性について、都内では小学校の建て替えが財政事情により白紙になったことがあったが、その際、行政がP T Aに対して予算編成を分かりやすくレクチャーし、できない理由をしっかりと明示した。富士見市でも、例えばジェネリックを使用することで医療費が抑制され、他の予算に回せるというような分かりやすい説明が必要ではないか。

○事業番号12「超高齢社会を見据えた介護職員育成事業」について、研修

会 議 事 項

を受けた方で、そのまま就労していない方もいる。市内の介護施設の求人情報を先に流したうえで研修を受けていただき、受講後、市内で就労する方への助成、いずれ就労したい方への助成等、イニシアティブをつける方法もあるのではないかと考えている。

事務局：○事業も様々あり、それぞれを検証しながら、市民の皆様理解いただけるように明示していければと考えている。

○介護職員の育成については、事業者と協力して事業を始めている。ご指摘のとおり就労に至っていない方もいるが、今後取り組みを進める中で、例えば、市内事業所で働けばテキスト代は無料などのインセンティブも含めて事業の作り込みをしていければと考えている。

○情報の提供は、バラバラに出すのではなく、シティセールスの所管を明確にするなど広報担当と調整しながら対応していきたい。

委 員：平成27年度に総合防災訓練を実施したが、今後の予定はどうか。

委 員：○三芳町では淑徳大学の学生参加の要請もあり、学生が参加している。防災訓練は実施することで終わりではなく、連絡網の体制や要援護者の把握など事業を検討するうえで工夫が必要である。工夫がないと予算を消化しているだけになってしまう。

○ココシルについては、面白味がなく他のサイトやアプリと同じに見えてしまう。どのように工夫していくか注力が必要である。

委 員：○勝瀬小学校では総合防災訓練終了後、地域の方々に意見をまとめ、検証したと聞いている。次へ活かせる取り組みであることから、市全体でも取り組めるようにしていくべきはないか。市が出来なければ、防災関係のNP
Oにファシリテートしてもらするなど価値向上につなげていく必要がある。

事務局：総合防災訓練に関しては、今年度はふじみ野市が実施する防災訓練に参加するため実施しない。総合防災訓練では、実施したことによって体制が強化されたことや、弱い部分や不足している部分などを検証していくことが大切であると考えている。東日本大震災や熊本地震を経験したからこそ、強いまちにしていく必要がある。訓練を通し力をつけ、地域との連携やコミュニティ

会 議 事 項

醸成などの付加価値をつけながら、今後どのように取り組んでいくか担当と調整していく。

委 員：荒川の堤防が決壊した時のことを想定していくことも必要ではないか。

会 長：情報の作り方、見せ方は非常に重要。また、新しい価値を創造していくことも大切である。K P Iについては、事業を進めていく中で庁内でも検証した方がよい。そうすることで新たな視点から考え、より良いK P Iにつながるのではないか。

情報を共有することはとても大切であるが、市がわかりやすく発信するだけでなく、市民と一緒に市民の求める情報をつくり発信していく姿勢が必要ではないか。

(3) 平成28年度の予定について

事務局：次回の審議会は、平成29年3月14日（火）を予定。会場等は改めて連絡したい。

4 閉会 昼間副会長